

札幌社保協 FAXニュース

2009年12月21日(月)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

次回の国保・介護・
後期高齢者110番は
12月24日(木)です。

東区社保協・区へ要望書

子どもの国保短期保険証窓口留め置きやめよ、後期高齢者の短期保険証について、年末年始の対応強化など



東区社保協は12/15に、12/2の区交渉の結果を受けて、区長に①18歳以下の子どもの短期保険証を窓口交付・留め置きにしないように、②後期高齢者の短期保険証による受診抑制がないか実体を調べること、③行政の年末年始相談体制の強化、④一時宿泊事業の閉庁時の対応をきちんとすることなどを申し入れ、区保健福祉部長に渡しました。

年末年始のワンストップサービスについては具体的な指示は来ていない、閉庁時は例年保護課の担当者が待機の体制をとっているため、対応できる、その他については担当課に伝えると部長の返事がありました。

後期高齢者医療はただちに廃止を！

申し入れに先立って、年金者組合東支部・社保協などは年金支給日の宣伝を区役所前で行いました。寒い中でしたが横断幕を掲げ、「後期高齢者医療制度廃止」や「最低保障年金の確立」を訴え、通行人へ署名もお願いしました。



西区社保協

福祉・地域要望などで区と交渉

西区社保協は12/18、提出していた要望書について西区役所と交渉を行いました。加入団体から10人が参加しました。

ホームレス対策では、社保協がこの間スーパーや駅などで調査をした実態を紹介、行政の積極的な対応を求めました。生活保護での対応しかないため、申請があれば対応できる、情報があれば相談員に伝えるとの回答。年末年始の対応では、区役所へ連絡があれば保護課の担当者に伝えることになっている、一時宿泊所の紹介や、休みの間の食事代などに使えるつなぎ資金も用意したい、と回答がありました。

その他区民センターの使用規則が変わり使いづらい、インフルエンザワクチン接種料-非課税世帯は無料などが知られていない、3人乗り自転車への助成などについてやりとりがありました。

また西区内の保育所に、子ども未来局・保育指導課作成の、保育料滞納に対する差押さえを強調するポスターについても話が出され、「まるで脅し」であり、やめるべきだと要請をしました。



障道協が市交渉

精神障がい者への運賃割引 市営交通だけでも検討



障道協(障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会)は、札幌市に提出していた要望書の回答に基づいて、12/18に25人が参加して関係部門と話し合いを行いました。

障がい者交通費助成では、精神障がい者の交通事業者の運賃割引実施に道と共に力を入れてほしいとかねてから要請していましたが、この日はバス事業者などへのお願いは引き続き行う

が、市営交通-地下鉄だけでも独自に割引ができないかを検討しているとの回答がありました。

その他、3障がい-身体・知的・精神の統一が言われながら、医療費助成や交通費助成で格差があること、市営住宅に軽度でも知的・精神の障がい者が単身では入居できないこと、障害者手帳の等級認定が実態に合っていないこと、などの改善を要求しました。医療では、精神は1級でも入院が重度心身医療の対象になっていない、入院している人が多く、助成してほしい、精神障がい者通院を5%医療費に戻してほしい、精神の薬は高いものが多く、払えなくて通院を減らし悪くなって入院する人もいる、などの実態が出されました。